

第4回和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備に向けた検討会[議事概要]

日時	令和8年2月16日(月) 18:00~20:00			
場所	ちよだパークサイドプラザ7階会議室			
出席者	所属			出席者
委員	施設関係者	小学校・こども園	和泉小学校	校長
			学校運営協議会	代表
			いずみこども園	園長
	地域関係者	町会	秋葉原東部町会連合会	会長
			地元町会(神田和泉町町会)	会長
		園児・児童・青少年	和泉小学校PTA	副会長
			いずみこども園PTA	役員
			青少年委員	委員
	代替園庭利用	アイグラン保育園東神田	(欠席)	
	隣接関係者	災害拠点病院 緊急医療救護所	三井記念病院	事務長
	学識経験者	アドバイザー(地域デザイン・建築計画)	日本大学理工学部教授	山中 新太郎
	千代田区	公園管理者	環境まちづくり部 環境まちづくり総務課長	神原 佳弘
			環境まちづくり部 道路公園課長	村田 啓介
	教育委員会	子ども部 教育担当部長	○ 大森 幹夫	

○ 進行役(モデレーター)

オブザーバー	いずみこどもプラザ館長、和泉橋出張所長、児童・家庭支援センター所長
事務局	千代田区教育委員会事務局 子ども部 子ども施設課
コンサルタント	株式会社都市環境研究所、ラーバンデザインオフィス合同会社
次第	<ul style="list-style-type: none"> ○前回以降の振り返りについて ○一体的整備構想について ○施設職員との意見交換について ○施設と公園のプランニングについて ○基本計画の検討の方向性について ○今後の検討スケジュールについて
資料	<p>資料1 第3回和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体整備に向けた検討会意見まとめ</p> <p>資料2 第2回オープンハウス型地域説明会の概要</p> <p>資料3 和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備構想策定までの経緯</p> <p>資料4 和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備構想(素案)に対するご意見と区の考え方</p> <p>資料5 和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備構想(令和8年2月千代田区)</p> <p>資料6 施設職員との意見交換の概要</p> <p>資料7 施設と公園のプランニング</p> <p>資料8 基本計画の検討の方向性</p> <p>資料9 和泉小学校・いずみこども園・和泉公園整備 想定スケジュール(全体)</p> <p>参考資料1 第3回和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体整備に向け</p>

	た検討会〔議事概要〕 参考資料2 和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備に向けた検討会設置要綱
--	---

意見等要旨

前回検討会の振り返りについて	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の検討会の記録（資料1、参考資料1）では「じゃぶじゃぶ池のような機能は確保する方向」との記載になっているが、現時点で公園整備内容が確定しているわけではなく、新公園の整備を行う段階で、改めて区民の皆さまのご意見を伺う機会を設け、検討を行うことになる。（道路公園課長） →承知した。その旨今回の議事録に残す。（区事務局）
一体的整備構想について	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントを経て、本検討会で検討してきた整備の考え方と今後の方向性を「一体的整備構想」として策定した。これを踏まえ、今後は、基本計画の検討を進めていく。（区事務局）
施設と公園のプランニングについて	<ul style="list-style-type: none"> ・資料7の案①案②は、整備後の施設に必要な機能の配置や、諸室の規模と相互の関係性について整理・検討するためのプランニング資料である。（区事務局） ・案①の屋上テラスでの風の状況はどうか。（山中教授） →公園・校庭における風シミュレーションを行っているが、屋上部分については行っていない。今後の検討となる。（コンサルト） ・案②には各階に大きなテラスがあるが、どのような趣旨か。（山中教授） →公園、校庭の外部空間が、大きめのテラスを介して学校へも続いていくイメージ。（コンサルト） →テラスの手すりはどれくらいの高さになるか。 →法的には1.2m以上だが、安全面からは全く出られないよう高くすることもある。（コンサルト） →子どもが使うことを考えると、安全面を優先する必要があるだろう。 →テラスは素敵だが、小学校ではテラスがあっても出るなと指導されているのでは。子どもの安全については、万が一のことを考える必要があるだろう。 ・年齢が近い学年が同じフロアにあると、張り合っ落ちて落ち着かないこともある。敢えて、1年生と6年生を近づけるといいう考え方もあるのではないか。 →この案では、特別教室に近い上層階に高学年の教室を配置しているが、学年の配置は調整できる。（コンサルト） ・1階に地域図書館、7階に図書・メディアセンターと図書空間が二つあるが、一つにまとめて面積を合理化し、運動ができる場所をもっと設けるといいう考え方もあるのではないか。 →地域では、しっかりと住民が使える図書館へのニーズがある。また、中高生は、自習スペースへのニーズが高く、今回の図書館で担えると良い。千代田区役所の上の図書館も、いつも満席である。かつてのプラザ1階には受付が無く、そこにあったソファで勉強している子もいた。 ・現在の小学校では、廊下に本を並べているが、本が身近であり良い面もある。また、今はタブレットを使い教室でネット接続ができるため、メディアセンターというより、遊べて交流ができる空間がもっとあると良いのではないか。 →独立した静かな図書室が良いか、教室のそばの緩やかな図書コーナーが良いかは、司書の考え方にもよる。和泉小学校における図書空間がどうあるべきかの検討になる。（コンサルト） ・各階のトイレが中央に配置されているが、災害で停電の中でも使用する場面があることを考えると、窓がないことが気になる。避難所として使用した際にトイレが原因で感染が起こることが指摘されており、自然換気ができることが望ましいのではないか。

- また、昨年音楽室の空調が壊れた際に、セントラル空調であったためになかなか修理されず子どもたちが暑い思いをした。可能であれば個別空調にしてほしい。
- トイレや流し場が真ん中にあるのは、小学校運営上も使い勝手が悪い。学年で少し集まれるスペースが現状ないため、トイレや流し場は脇におき、中央に集会スペースを配置することはできないか。避難を考えると、両サイドの階段はゆとりを持って配置してほしい。全ての階段から校庭へ抜けられるようにできるとよい。避難動線をこども園と兼用すると混雑しないか。
- 現在の3列構成の案は、東西の列は採光がとれ、中央の列は採光がとれないため、まず法的にも採光が必要な部屋は東西の列に、トイレや設備類など法的な採光不要な室を中央の列に配置している。外部テラス案は、わかりやすい避難路が確保された案と見ることも可能。(コンサルト)
- ・校庭にフェンスや防球ネットは必要。高さ制限はあるのか。
 - 構造的に強くすれば高くできる。(コンサルト)
 - 千代田区の学校校庭では、10m程度のものが多い。ボールが外に出ないようにして欲しいとの意見もあり、本日の模型は仮に15mにした案で作成している。人工地盤の高さが5mであるため、公園や道路から見ると、地上から20m、マンション換算で6～7階建て程度の高さの位置までフェンスや防球ネットが立ち上がる感じになる。小学校の授業としてはここまで高くする必要はないと思われるが、もし野球の試合のようなことをしたいとなると、この15mでも低いとなるだろう。望ましい落としどころを探っていきたい。(区事務局)
 - イメージはネットなのか。壁のようになると閉鎖的になる。安全性は大事だが閉鎖的になってしまっは意味がない。
 - 野球のボール等が病院の窓に飛んでこないよう配慮してほしい。
 - 上空をネットで覆うことはできるのか。
 - ネットのフレームを構造的に強固にすれば可能性はある。(コンサルト)
 - ・こどもプラザへのエレベーターについては、下校時には子どもたちで混雑し、イベントがあるとベビーカー利用者も含めて30組くらいの方が一斉に来るため、並んでいる2機のエレベーターをどちらも使えると良い。また、授乳室、おむつ替えシートなどの設備も必要。
 - ・公園から校庭への階段は案①の直線型の方が今後の公園設計にあたっての自由度は高いだろう。遊具を設置する場合に安全領域を確保する必要があり、階段から離す必要がある。(道路公園課長)
 - 公園設計の自由度の視点の他、北側への通り抜けや三井記念病院からの見通し確保、階段裏面の処理、公園と人工地盤下との一体感等も含めて考える必要がある。いただいた意見も踏まえて優先順位をつけながら検討したい。(コンサルト)
 - ・教室については、将来児童数への対応や特別支援教室としての活用分等も踏まえて24室が記載されているが、基本の学級配置としては3～4フロア内で児童、職員の普段の行き来ができると理想的である。特別支援教室は上階でも良いが、教室を2分割、3分割できるような設えにした方が需要に合うだろう。
 - ・こども園部分には、広い吹き抜けを設けて1階に光が入ってくるようにプランニングされているが、トップライトのようなものを設ける形でも、人工地盤下の1階部分に光を入れることができるのではないか。
 - ・本日の案のスライドで、吹き抜けを設けることで光が1階に入ってくると共に、こども園内の1階と2階の活動空間がつながるイメージが持てた。こういう空間を設けることが望ましい。
 - ・歩道から園庭への視線が気になる。視線を遮るようなものを検討してほしい。

<p>今後の検討について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本日いただいた意見は、整理して基本計画の内容に反映していく。また、本検討会は、設置要綱上、「施設・公園の一体的整備構想」策定までの間の検討会としているため、本日の回で終了となる。なお、今後の基本計画策定にあたっては、このような会を設けさせていただく予定のため、構成メンバー等を整理した後、改めてお声掛けさせていただく。(区事務局)
<p>総括(日本大学理工学部教授)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの施設(公園、小学校、こども園、こどもプラザ)の検討が具体的となり、どのような複合施設となるのかイメージができてきた段階かと思う。(山中教授) ・これからは、それぞれの施設間で共用する部分の検討を深めていく必要がある。建築の計画は運用とセットで検討していくことが重要。季節的に共用するスペースやエレベーター・備蓄倉庫などの運用も含めて皆さんと検討していけるとよい。園児・児童たちが土いじりをしたい時には公園を活用したり、地域の方がお祭りの際に公園だけではなく校庭も活用したりと、運用とセットで計画を考えることで、面積以上の使い方ができる。子どもたちの気持ちになって良い検討ができればよい。(山中教授) ・また、ある段階で、このプロジェクトに名称を付けるのがよいのではないか。公園も含めて、みんなが共感できるような愛称のようなものがあるとよい。(山中教授)